

[記入注意] この実務経歴書は勤務先(自営業を含む)毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を=線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

申請者氏名 建築 士郎

勤務先等					
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計			
		年月～年月	年月数		
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R2年 4月～R4年 10月	2年 7月		
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
R2年10月～R4年9月	2年 0月	課員	建築物の設計に関する実務		
年 月～年 月	年 月				
年 月～年 月	年 月				
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)		建築実務経験期間の合計			
		2年 0月			
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
	〇〇事務所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	年月～年月	建築実務の割合	年月数
			R4年 7月～R4年 9月	100 %	0年 3月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 1C-01 〕 事務所ビル新築工事(鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積2,000㎡)の設計業務のうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当した。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
	〇〇小学校	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	年月～年月	建築実務の割合	年月数
			R3年 4月～R4年 6月	100 %	1年 3月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 1C-01 〕 小学校新築工事(木造3階建て、延べ面積3,000㎡)の基本・実施設計業務において、基本設計にて平面、立面、断面計画等の作成補助を、実施設計にて一般図(平面、立面、断面)の作成補助を担当した。					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
	〇〇病院	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	年月～年月	建築実務の割合	年月数
			R2年10月～R3年 3月	100 %	0年 6月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 1C-02 〕 病院増築工事(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡)の基本設計業務において、関係法令のチェックや各種インフラ整理、必要諸室・規模の検討等の設計と条件の整理を担当した。					

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※ 審 査					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関

氏名 建築 士郎

一般社団法人石川県建築士会会長 様

勤務先等

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H30年 4月～ R3年 6月	3年3月
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
年月～年月	年月数		
H31年4月～R3年3月	2年 0月	技師	建築物の工事監理に関する実務
年 年～ 年 月	年 月		
年 年～ 年 月	年 月		

建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)

建築実務経験期間の合計

2 年 0 月

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	S 邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R2年 2月～R3年 3月	100 %	1年2月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 2C-01 〕					
専用住宅(木造2階建て、延べ面積140㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	Y 邸	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R1年 8月～R2年 1月	100 %	0年 6月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 2C-01 〕					
専用住宅(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積200㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇マンション	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H31年 4月～R1年 7月	100 %	0年 4月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 2C-01 〕					
共同住宅(鉄筋コンクリート造10階建て、延べ面積1,500㎡)の新築工事において、工事監理補助を担当した。					

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※審査					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先(自営業を含む)毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を=線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎

勤務先等				
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計		
		年月～年月	年月数	
〇〇株式会社 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R2年 4月～ R4年 7月		2年4月
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)	
年月～年月	年月数			
R2年4月～R4年3月	2年 0月	技師	建築工事の指導監督に関する実務	
年 月～ 年 月	年 月			
年 月～ 年 月	年 月			
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計	
			2年 0月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	建築実務の割合
	住宅瑕疵担保責任 保険現場検査	—	R2年 4月～R4年 3月	100 %
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)			
	〔 3C-02 〕 住宅瑕疵担保責任保険の検査業務において、木造・鉄骨造・鉄筋コンクリート造の住宅について、下記の項目に関する現場検査の補助を担当した。(〇件) ・木造(基礎配筋、構造部材寸法、筋違寸法、補強金物、防水処理等) ・鉄骨造(基礎配筋、構造部材、防水処理等) ・鉄筋コンクリート造(基礎配筋、躯体配筋、防水処理等)			
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	建築実務の割合
			年 月～ 年 月	%
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)			
	〔 〕			
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	建築実務の割合
			年 月～ 年 月	%
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)			
	〔 〕			

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※審査					
.....					
.....					
.....					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関

一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎

勤務先等

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H23年 4月～ R4年 3月	11年0月
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
年月～年月	年月数		
R2年4月～R4年3月	2年 0月	主任	建築士事務所の業務として行う建築物に関する調査又は評価に関する実務
年 月～ 年 月	年 月		
年 月～ 年 月	年 月		

建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)

建築実務経験期間の合計

2年 0月

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	定期報告調査 (〇〇レジデンス、他〇件)	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 (〇〇レジデンスの所在地)	R3年 4月～R4年 3月	100 %	1年 0月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
	〔 4C-01 〕 〇〇レジデンス(築15年の共同住宅、鉄筋コンクリート造8階建て、延べ面積3,000㎡)における定期報告調査業務において、敷地地盤、建物外及び内部、屋上屋根、避難施設等の調査補助を担当した。(他〇件)				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	耐震診断及び構造計算書の チェック(〇〇ビル、他〇件)	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地 (〇〇ビルの所在地)	R2年 4月～R3年 3月	100 %	1年 0月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
	〔 4C-02 〕 〇〇ビル(築40年の鉄筋コンクリート造4階建て、延べ面積1,500㎡)における建築物の耐震診断に関する業務において、耐震診断及び構造計算書のチェックの補助を担当した。(他〇件)				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
	〔 〕				

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関

氏名 建築 士郎

一般社団法人石川県建築士会会長 様

勤務先等					
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計			
		年月～年月	年月数		
〇〇建設株式会社 〇〇支店 〇〇部 第〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H30年 4月～ R4年 3月	4年 0月		
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
R2年3月～R4年3月	2年 0月	—	工事の施工の技術上の管理に関する実務		
年 月～ 年 月	年 月				
年 月～ 年 月	年 月				
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計		
			2年 0月		
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇事務所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R3年 1月～R4年 3月	100 %	1年 3月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 5C-05 〕					
事務所ビル(鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積1,850㎡)の新築工事において、建築一式工事の施工管理のうち、鉄筋工事を担当した。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇駅前再開発ビル	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R2年 3月～R2年 11月	100 %	0年 9月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 5C-05 〕					
複合用途ビル(鉄筋コンクリート造7階建て、延べ面積1,550㎡)の新築工事において、建築一式工事の施工管理のうち、鉄筋工事を担当した。					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 〕					

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に)			用途・構造・規模・担当業務 等)	
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に)			用途・構造・規模・担当業務 等)	
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に)			用途・構造・規模・担当業務 等)	
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に)			用途・構造・規模・担当業務 等)	
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に)			用途・構造・規模・担当業務 等)	
[]					
※審 査					
.....					
.....					
.....					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎

勤務先等				
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計		
		年月～年月	年月数	
〇〇法人〇〇 〇〇支店 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H28年 4月～ R4年 9月		6年6月
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)	
年月～年月	年月数			
R2年4月～R4年3月	2年 0月	係員、主任	建築基準法第18条の3第1項に規定する確認審査等に関する実務	
年 年～ 年 月	年 月			
年 年～ 年 月	年 月			
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計	
			2年 0月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
	確認申請図書審査	—	R2年 4月～H4年 3月	2年 0月
			建築実務の割合	
			100 %	
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 6C-01 〕				
確認審査業務において、確認申請書、その他必要図書の構造審査の補助を担当した。(〇件)				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
			建築実務の割合	
			%	
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
			建築実務の割合	
			%	
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕				

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※ 審 査					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関

氏名 建築 士郎

一般社団法人石川県建築士会会長 様

勤務先等					
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計			
		年月～年月	年月数		
〇〇市消防本部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H29年 4月～ R2年 3月	3年 0月		
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
H30年4月～R2年3月	2年 0月	係員	消防長又は消防署長が建築基準法第93条第1項の規定によって同意を求められた場合に行う審査に関する実務		
年 年～ 年 月	年 月				
年 年～ 年 月	年 月				
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計		
			2年 0月		
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	消防同意における 審査・指導補助	—	H30年 4月～R2年 3月	100 %	2年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 7C-01 〕					
〇〇市の建築物の消防法等の関係法令に基づく、防火に関する規定についての審査の補助(〇件)、防火に関する指導の補助(〇件)、及び完成建築物等の中間・完了検査の補助(〇件)を担当した。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 〕					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 〕					

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※審査					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。
備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎

勤務先等				
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計		
		年月～年月	年月数	
〇〇県 〇〇市 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H28年 4月～ R4年 3月	6年 0月	
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)	
年月～年月	年月数			
R2年4月～ R4年3月	2年 0月	技師、主任	建築行政に関する実務	
年 月～ 年 月	年 月			
年 月～ 年 月	年 月			
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計	
			2年 0月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	建築実務の割合 年月数
	建築物の中間検査・完了検査	—	R3年 4月～R4年 3月	100 % 1年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 8C-01 〕				
〇〇市の建築物の中間検査及び完了検査の補助を担当した。 ・中間検査において、工事中の建築物の施工済部分について、図面、写真、報告書等をもとに目視・実測等による検査の補助を担当した。(〇件) ・完了検査において、完成した建築物について、図面、写真、報告書等をもとに目視・実測等による検査の補助を担当した。(〇件)				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	建築実務の割合 年月数
	法律に基づく認定・審査及び判定	—	R2年 4月～R3年 3月	100 % 1年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 8C-02 〕				
〇〇市の建築物の、長期優良住宅の認定及び建築物省エネ法に基づく届出に係る審査の補助を担当した。 ・長期優良住宅の認定業務において、申請書類による認定審査等の補助を担当した。(〇件) ・建築物省エネ法に基づく届出に係る審査業務において、届出書類の審査の補助を担当した。(〇件)				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	建築実務の割合 年月数
			年 月～ 年 月	% 年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕				

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※ 審査					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築士郎

勤務先等					
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計			
		年月～年月	年月数		
〇〇県 〇〇市 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H31年 4月～ R4年 6月	3年 3月		
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
R2年4月～R4年3月	2年 0月	技師、主任	住宅行政に関する実務		
年 月～ 年 月	年 月				
年 月～ 年 月	年 月				
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)		建築実務経験期間の合計			
		2年 0月			
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	木造住宅耐震改修促進事業	—	R3年 4月～R4年 3月	100 %	1年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 9C-01 〕					
〇〇市における木造住宅耐震改修促進事業において、木造住宅の耐震改修費用の補助申請に関する関係書類の審査の補助、及び完了報告書の審査の補助を担当した。(〇件)					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	特定空き家等の判定	—	R2年 4月～R3年 3月	100 %	1年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 9C-01 〕					
〇〇市において、特定空き家等の可能性が高い建築物について、現地調査で調査票をもとに対象建築物の老朽度や危険度等のチェック等の業務を担当した。(〇件)					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 〕					

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※ 審査					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎

勤務先等					
勤務先(部課名まで)		所在地(番地まで)		在職期間の合計	
〇〇県 〇〇市 〇〇部 〇〇課		〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地		年月～年月	年月数
				H30年 4月～ R4年 5月	4年 2月
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
R2年4月～ R4年3月	2年 0月	技師、主任	都市計画行政に関する実務		
年 月～ 年 月	年 月				
年 月～ 年 月	年 月				
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)				建築実務経験期間の合計	
				2年 0月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地		建築実務経験期間	
	〇〇市街地再開発事業	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目、〇〇丁目、 〇〇丁目の一部		年月～年月	建築実務の割合 年月数
				R3年 4月～R4年 3月	100 % 1年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 10C-01 〕					
〇〇市街地再開発事業の施設建築物基本計画において、施行区域の建築物の現況調査(用途、面積、階数、築年数等)、および施設の整備計画案(配置、平面、立面)の検討、図面作成等の補助を担当した。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地		建築実務経験期間	
	〇〇地区土地区画 整理事業	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目、〇〇丁目、 〇〇丁目の一部		年月～年月	建築実務の割合 年月数
				R2年 4月～R3年 3月	100 % 1年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 10C-01 〕					
〇〇地区土地区画整理事業において、施行区域に建設する共同住宅の整備計画案の検討を行うとともに、施行区域内における移転補償費の算定基礎となる建築物のデータ整理及び現況調査、建築物の移転補償費の概算額の算定等の作業を担当した。					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地		建築実務経験期間	
				年月～年月	建築実務の割合 年月数
				年 月～ 年 月	% 年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 〕					

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕					
※ 審査					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎

勤務先等					
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計			
		年月～年月	年月数		
〇〇県立〇〇工業高等学校 〇〇科	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H30年 4月～ R4年 4月	4年 1月		
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
R2年4月～R4年3月	2年 0月	教諭	建築教育に関する実務		
年 月～ 年 月	年 月				
年 月～ 年 月	年 月				
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計		
			2年 0月		
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	工業高校の教員	—	R2年 4月～R4年 3月	100 %	2年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 11C-01 〕					
〇〇県立〇〇工業高等学校の建築科において、令和2年度に〇年生、令和3年度に〇年生に対して建築計画及び建築設計製図の授業を担当した。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 〕					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 〕					

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※ 審査					
.....					
.....					
.....					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎 印
(自署)

勤務先等

勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計	
		年月～年月	年月数
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R2年 4月～ R4年 5月	2年 2月
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)
年月～年月	年月数		
R2年4月～R4年3月	2年 0月	助教	建築物に関する研究開発に関する実務
年 月～ 年 月	年 月		
年 月～ 年 月	年 月		

建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)

建築実務経験期間の合計

2年 0月

(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	建築物に関する調査 または評価に関する研究	—	R3年 4月～R4年 3月	50 %	0年 6月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
	〔 12C-01 〕 建築物に関する調査または評価に関する研究について、△△市内の歴史的建築物の実測調査及び図面化を行い、その結果を基に第一著者として論文を執筆した。 掲載誌:〇〇学会〇〇論文集〇年〇〇号〇ページ掲載 標題:〇〇に対する〇〇について 著者名:〇〇 〇〇、〇〇 〇〇				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	建築物の設計に関する研究	—	R3年 4月～R4年 3月	50 %	0年 6月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
	〔 12C-01 〕 建築物の設計に関する研究について、△△ダンパーを連層配置した高層建築物の地震応答特性を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。 掲載誌:〇〇学会〇〇論文集〇年〇〇号〇ページ掲載 標題:〇〇に対する〇〇について 著者名:〇〇 〇〇、〇〇 〇〇				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	建築物の設計に関する研究	—	R2年 4月～R3年 3月	100 %	1年 0月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
	〔 12C-01 〕 建築物の設計に関する研究について、△△施設における温熱環境の多変量解析を行い、その結果を基に共著者として論文執筆に携わった。 掲載誌:〇〇学会〇〇論文集〇年〇〇号〇ページ掲載 標題:〇〇に対する〇〇について 著者名:〇〇 〇〇、〇〇 〇〇				

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※ 審査					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

実務経歴書

実務経歴書 記入例
(リスト⑩: インターンシップ等に関する場合)

[記入注意] この実務経歴書は勤務先(自営業を含む)毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求められることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を=線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎

勤務先等					
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計			
		年月～年月	年月数		
〇〇大学大学院〇〇研究科〇〇専攻	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R2年 4月～ R4年 3月	2年 0月		
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
R2年4月～R4年3月	2年 0月	学生	大学院の課程におけるインターンシップ		
年 月～ 年 月	年 月				
年 月～ 年 月	年 月				
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計		
			2年 0月		
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
	インターンシップ及びインターンシップ関連科目の修得	—	年月～年月	建築実務の割合	年月数
			R2年 4月～R4年 3月	100%	2年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 13C-01 〕 〇〇建築設計事務所における建築設計に関するインターンシップを行い、インターンシップ及びインターンシップ関連科目の修得により大学院が定める所定の単位数32単位を取得。 建築士試験の大学院における実務経験に係る修得単位証明書(別紙)を提出。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 〕					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 〕					

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※ 審査					
.....					
.....					
.....					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。
私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関
一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎

勤務先等				
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計		
		年月～年月	年月数	
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H29年 4月～ R4年 3月	5年 0月	
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)	
年月～年月	年月数			
R2年4月～R4年3月	2年 0月	技師	その他(公共建築物における維持管理保全計画及び利活用検討に係る業務)	
年 月～ 年 月	年 月			
年 月～ 年 月	年 月			
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計	
			2年 0月	
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
	〇〇図書館の長期的な維持保全計画	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	R3年 4月～R4年 3月	1年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 99C-01 〕				
〇〇市の〇〇図書館の長期的な維持保全計画の策定業務において、建築物や設備機器の劣化調査や法令等への適合状況の確認を行い、〇〇図書館の改修・保全方法等の検討を行った。				
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
	既存建築物の利活用検討	—	R2年 4月～R3年 3月	1年 0月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 99C-01 〕				
〇〇町の既存建築物の利活用の検討業務において、町内の5棟の既存建築物の法令への適合状況や改修の可能性を設計図書を用いて検討したうえで、既存建築物の利活用に関する具体的な方策の検討を行った。				
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間	
			年月～年月	年月数
			年 月～ 年 月	年 月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
〔 〕				

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～ 年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
※審査					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

[記入注意] この実務経歴書は勤務先（自営業を含む）毎に作成し、今までの建築に関する実務の経歴について登録に必要な業務内容を年代順に記入してください。なお、記載内容の記入不備や疑義が生じた場合、再提出や追加書類の提出を求めることになり、登録が遅れる場合があります。また、虚偽の実務経歴を記載した場合、建築士法上の措置や登録が認められない場合もあります。

二級・木造のうち不要の字句を＝線で抹消してください。

私は、二級・木造建築士の免許を受けたいので、建築実務の経歴を下記の通り記載し、併せて第三者がこの実務経歴書の内容が事実と相違ないことを確認したことを証する実務経歴証明書を提出します。

私は、下記事項が真実で、かつ正確であることを誓います。

令和〇〇年 〇〇月 〇〇日

石川県指定登録機関

一般社団法人石川県建築士会会長 様

氏名 建築 士郎

勤務先等					
勤務先(部課名まで)	所在地(番地まで)	在職期間の合計			
		年月～年月	年月数		
株式会社〇〇建築設計事務所 〇〇部 〇〇課	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H20年4月～H23年10月	2年7月		
在職期間		地位職名	建築実務の内容(建築士法施行規則第一条の二)		
年月～年月	年月数				
H21年10月～H23年9月	2年 0月	課員	建築物の設計に関する実務		
年 月～年 月	年 月				
年 月～年 月	年 月				
建築実務の詳細(直近の実務から新しい順に記入)			建築実務経験期間の合計		
			2年 0月		
(1)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇事務所	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H23年7月～H23年9月	100%	0年 3月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 1C-01 〕					
事務所ビル新築工事(鉄筋コンクリート造5階建て、延べ面積2,000㎡)の設計業務のうち、基本設計補助(平面、立面、断面計画等)等を担当した。					
(2)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇小学校	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H22年4月～H23年6月	100%	1年 3月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 1C-01 〕					
小学校新築工事(木造3階建て、延べ面積3,000㎡)の基本・実施設計業務において、基本設計にて平面、立面、断面計画等の作成補助を、実施設計にて一般図(平面、立面、断面)の作成補助を担当した。					
(3)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
	〇〇病院	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇丁目〇〇番地	H21年10月～H22年3月	100%	0年 6月
実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)					
〔 1C-02 〕					
病院増築工事(鉄筋コンクリート造3階建て、延べ面積2,500㎡)の基本設計業務において、関係法令のチェックや各種インフラ整理、必要諸室・規模の検討等の設計と条件の整理を担当した。					

上記の実務を行った株式会社〇〇建築設計事務所は、平成〇年〇月に倒産した。

(4)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(5)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(6)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(7)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					
(8)	対象物件の名称等	対象物件の所在地	建築実務経験期間		
			年月～年月	建築実務の割合	年月数
			年 月～年 月	%	年 月
	実務経験の対象となる業務の内容(できるだけ具体的に 用途・構造・規模・担当業務 等)				
[]					

(記入上の注意) 数字は算用数字を用い、※印欄は記入しないでください。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。